

〔第184回明専会（LINE株）〕

チームで技術を決める

情報工学府先端情報工学専攻M1 永島 薫



はじめに

令和元年12月12日、飯塚キャンパスにおいて第184回明専会が開催されました。今回は、LINE株式会で活躍されている皆さまにご講演いただきました。

LINE株式会社は今日、非常に多くのスマートフォンにインストールされ、たくさんの人をつないでいるメッセージアプリ「LINE」を提供する会社です。我々の日常に密着したアプリを支える方々のお話を、一利用者として聞ける貴重な機会と思い参加を決め、非常に楽しみにしていました。

講演会

講演会では、まずLINE株式会社の説明と考え方について、開発室の林様より説明がありました。その後、OBの先輩方のご講演がありました。平井一史先輩（情知H15卒）から自身のプロダクトを通じて、サービスの開発の流れのご説明をいただきました。その中で私が一番興味を持ったこととして、サービスで使用するものはモダンでメンテナンスのし易いものを選択するという話です。モダンなものを選択する意図はわかりますが、メンテナンスをし易いというのはどういうものなのかを質問して、お答えいただきました。答えとしては、きれいにコードが書いてあるものを選ぶということでした。この判断ができるということはチーム内でもきれいなコードかどうかを判断することができるよう人たちが複数人いることがわかります。さら

に、これをプロダクトごとにやるならば社内きれいなコードかどうか判断できる人が一定数おり、ソフトウェアエンジニアとして働いていられたいんだなと思いました。その後は、平山光太郎先輩（機知H24卒）からキャリア設計についての話、秋勇紀先輩（情知H31卒）から仕事についての価値観、どういう気持ちで日々を過ごしていくのかという話がありました。自分ができる最大のことをやるという大切さがわかりました。

懇親会

懇親会では、ご講演いただいた社員の方だけでなく多くの社員の方に

ご参加いただき、様々な方面からのお話を楽しく伺うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。会社を選ぶ際にどのような軸を考えるといいのか、実際のお仕事の楽しさや苦労した点など、様々なことをお聞きすることができました。

最後に

最後になりますが、ご多忙の中私たち学生に講演していただいた方々、懇親会に集まっていたいただいた社員の皆様、また、このような貴重な機会を提供してくださった明専会や教職員の皆様に心より感謝申し上げます。（令和元年12月記）



講演会の様子



懇親会の様子